

『地域経営計画書（後期計画）』の進捗結果について (平成27年度実績について)

『地域経営計画書(後期計画)』は、まちづくりの10カ年構想である『高根沢町地域経営計画2006』のうち、後期5カ年(平成23年度～27年度)の行動計画書です。

平成28年度からは地域経営計画2016がスタートしておりますが、前計画の進捗結果を取りまとめました。

施策の進捗状況

基準値

進捗状況

H27年度までに達成する目標値です。



1. 都市・生活基盤分野

NO.	施策	主な指標	H21	H27	目標値
1-1-1	快適な住環境の整備	(1)宝積寺駅西第一土地区画整理事業 区画道路築造(4,702m)の進捗率 (2)景観条例の制定 (3)地籍調査事業進捗率	(1)55.5% (2)未制定 (3)1,190ha	(1)86.6% (2)制定済み (3)1,269ha	(1)100.0% (2)制定 (3)1,250ha
1-2-1	計画的な道路の整備と維持管理	幹線道路整備進捗率	62.5%	72.9%	91.6%
1-2-2	新たな手法による効率的な道路等の維持管理	道普請事業整備延長	10,300m (※H22)	16,125m	15,300m
1-3-1	デマンド交通を核とした魅力ある交通体系の確立	デマンド交通「たんたん号」年間利用者数	45,205人 (※H22)	46,900人	52,600人
1-4-1	災害に強い水道施設の整備	石綿セメント管更新整備率	47.2%	95.8%	100.0%
1-5-1	生活排水処理の整備普及	公共下水道汚水管整備計画面積 (宝積寺地区 全体面積 438ha)	223.6ha	274.7ha	280.0ha

【分野別達成状況の概要】

東日本大震災で被災した状況下にあっても、限られた財源の中で、復旧事業とのバランスをとりながら、道路、水道(石綿セメント管の更新)や下水道(汚水管の整備)等の整備を進めてきました。

区画整理事業については、平成27年度に事業計画変更を行い、平成30年度まで事業期間を延伸しましたが、引き続き早期事業完了に向け、関係者との合意形成を図っていきます。

デマンド交通については、町民の皆さんから好評をいただいております。今後も、「たんたん号」を町民の皆さんにとってより良いものとするべく取り組んでいきます。

2. 保健医療・福祉分野

NO.	施策	主な指標	H21	H27	目標値
2-1-1	健康増進対策の推進	(1)メタボ予防のための体重増加を防ぐための食事の注意を知っている人の割合 (2)定期的に運動する人の割合	(1)66.7% (2)36.0%	(1)71.8% (2)32.6%	(1)80.0% (2)50.0%
2-2-1	高齢者の豊かな地域生活への支援	外出にデマンド交通を利用した60歳以上の人数	27,300人	34,827人	32,760人
2-2-2	介護予防事業の推進	介護認定率(推計値からの抑制)	13.77%	16.18%	15.14%
2-3-1	障がい児・者等の生活支援	居宅・施設サービス利用者数	184人	263人	200人

2-3-2	地域福祉力の充実	コーディネーター及び相談員の人数	67人	72人	72人
2-4-1	地域における子育て支援サービスの充実	(1)子育て支援拠点数 (2)ファミリーサポートセンター設置 (3)保育園受入れ可能な児童数	(1)2箇所 (2)未設置 (3)682人	(1)4箇所 (2)設置 (3)712人	(1)6箇所 (2)設置 (3)700人
2-4-2	援護を必要とする子育て家庭への支援	(1)要保護児童ケースのうち継続的な支援を必要としない割合 (2)オレンジリボンキャンペーンの認知度	(1)57.4% (2)未測定	(1)45.8% (2)10.0%	(1)70.0% (2)100.0%
2-4-3	子育て家庭への経済的支援	児童手当の支給率	未測定	99.96%	100.0%

【分野別達成状況の概要】

健康づくり関係においては、健診等への積極的な勧奨等により、町民の皆さんの健康に対する意識は着実に高まってきていると判断しています。一方で、国保の医療費はなかなか抑制されない状況にあります。

高齢者・障がい者関係は、ここ数年の制度改正に適切に対応しながら、継続的な支援ができたかと判断しています。

子育て支援のハード面、あるいは経済的な支援の面においては、ニーズの動向に応じて、着実にサービスを維持することができたものと判断しています。

養育支援の面においては、家庭から発せられるSOSに対する相談支援体制を強化することが課題となっていますので、まずは関係機関の職員個々のスキルアップとネットワーク強化に、積極的に取り組んでいる状況です。

3. 自然・生活環境分野

NO.	施策	主な指標	H21	H27	目標値
3-1-1	自然環境の保全と景観形成	環境学習参加人数	1,704人	1,770人	2,000人
3-2-1	ごみ分別の推進	町民1人1日当たりの可燃ごみ排出量	333g	378g	283g
3-3-1	実効性のある防災体制の強化	全町的防災訓練の年間実施回数	1回	2回	2回
3-4-1	関係機関と連携した防犯・交通安全対策の強化	(1)年間交通事故発生件数 (2)年間刑法犯認知件数	(1)121件 (2)290件	(1)77件 (2)115件	(1)91件 (2)230件

【分野別達成状況の概要】

環境については、エコハウスを核とした積極的な環境学習の実施により、町民の皆さんのエコに対する意識も、着実に高まってきていると判断しています。一方で、可燃ごみの排出量が、目標どおり抑制されていないという数字が出ていますが、これは、野焼き等、自家焼却からの移行があるものと分析しています。

防災については、東日本大震災を受け、地域防災計画の見直し、災害時相互応援協定の締結、避難所等における特設公衆電話や災害用掲示板の設置、防災行政無線テレホンサービスなど、最優先事項として施策展開を図ってきました。今後も引き続き、防災訓練等により地域防災計画をより実効性のあるものするための取組みを進めていきます。

防犯、交通安全については、指標が示すとおり、町民の皆さんや関係団体との協力体制により、着実な成果が出ています。今後もこの体制を継続していきます。

4. 産業経済分野

NO.	施策	主な指標	H21	H27	目標値
4-1-1	農業の持続的な発展	(1)担い手への農地の利用集積率 (2)水田の利用率	(1)44.0% (2)111.8%	(1)53.0% (2)108.6%	(1)50.0% (2)120.0%
4-1-2	安心・安全な農産物の生産	エコファーマーの認定者数	233 人	121 人	250 人
4-1-3	農村の振興	農地・水保全管理支払交付金事業及び事業完了後自主的な活動の実施地区数	10 地区	10 地区	10 地区
4-2-1	町内産業の活性化	法人町民税納税義務者数	533 者	507 者	583 者
4-2-2	優良企業の立地促進	企業立地助成制度の創設	未創設	基金創設	創設
4-3-1	町内商業の活性化	ちよっ蔵広場の利用者数	17,261 人 (※H22)	20,915 人	20,000 人
4-3-2	安全な消費生活	消費生活相談員の設置	未設置	設置	設置

【分野別達成状況の概要】

水田農業確立対策室を中心に、国施策の情報を素早く農業者に周知し、関係機関と一体的に事業展開している結果として、農地の利用集積率等が着実に伸びていることが、大きな成果であると判断しています。

これまでの様々な取組みによって行政と町民の皆さんが協力連携する気運が高まってきた結果として、国の地方創生交付金を活用した「新商品開発プロジェクト」(平成 27 年度)において、高根沢焼きちやんぼん、米粉スイーツ・パン、ジェラートが商品化されました。

町内産業、企業立地については、まずはキリンビール跡地について、関係者への積極的な働きかけを継続し、その動向をみながら、本町に合った制度を検討していきます。

消費生活については、平成 25 年度から平成 27 年度までは宇都宮市消費生活センターに相談受付業務を委託していましたが、平成 28 年度からは町単独でのセンター設置となります。

5. 教育・文化分野

NO.	施策	主な指標	H21	H27	目標値
5-1-1	確かな学力の育成	学習内容定着度調査の全国平均点との比較	—	(測定不能)	全国平均点以上
5-1-2	豊かな心の育成	近所の人に会ったときあいさつをする割合	82.4%	(測定不能)	90.0%
5-1-3	特別支援教育・不登校対策の充実	配慮を要する児童生徒に対する支援率	64.5%	80.6%	87.5%
5-1-4	健康な体づくりの推進	朝食をきちんと食べる児童生徒の割合	96.0%	(測定不能)	100.0%
5-1-5	学校安全指導の充実	子ども 110 番の家登録件数	—	414 件	400 件
5-1-6	計画的な学校施設の維持	校舎等の維持改修箇所数	—	5 箇所	累計 5 箇所
5-2-1	青少年健全育成に向けた側面的支援	団体への継続的な自立支援(支援団体数)	20 団体	21 団体	20 団体
5-2-2	学びの場の提供と担い手への側面的支援	図書館の利用者数	100,183 人	121,976 人	109,400 人
5-2-3	文化・芸術活動への支援	歴史民俗資料館企画展開催数	8 回	12 回	10 回

5-2-4	生涯スポーツ推進に向けた環境整備と担い手への側面的支援	総合型地域スポーツクラブの会員数	328人	466人	450人
5-2-5	計画的な社会教育施設の維持	社会教育施設の維持改修箇所数	—	計3箇所	累計9箇所

【分野別達成状況の概要】

知・徳・体の教育及び特別支援教育は、いずれも現時点の目標を達成しており、着実な成果をあげたと判断しています。今後も、関係者との連携を密に、一貫したきめ細やかな対応を図っていきます。

生涯学習については、数字で検証することが難しい部分ではありますが、行政と町民の皆さんの緩やかな協力体制の中から様々な体験活動が実施されるなど、町民の皆さんが自発的に、自分に適した方法で自己啓発を図るための場や機会が提供されていると判断していますので、この状況を今後も維持していきます。

学校施設および社会教育施設といったハード面については、東日本大震災により一部事業の先送りを行ったことで、進捗に遅れが出ていますが、平成26年2月に阿久津小学校新校舎が竣工しました。

今後も限られた財源の中でバランスをとりながら、着実に計画に計上した施設の改修を進めていきます。

No.5-1-1(確かな学力)、5-1-2(豊かな心)、5-1-4(健康な体づくり)について、数値目標に、栃木県による「学習内容定着度調査」結果を用いていましたが、当該調査が平成25年度までで終了したため比較測定ができませんでした。なお、これに変わるものとして、平成26年度から、国が「全国学力・学習状況調査」を、栃木県が「とちぎっ子学習状況調査」を実施しています。

6. 地域コミュニティ分野

NO.	施策	主な指標	H21	H27	目標値
6-1-1	町民が活動しやすい環境整備	(仮称)志民活動サポートセンターの設置	—	H26.4発足	設置
6-2-1	男女共同参画への意識醸成	「男女共同参画社会」という用語の認知度	—	49.8%	90.0%
6-3-1	町民ニーズを基準とした情報共有の推進	町ホームページへの総アクセス件数	107,503件	181,291件	156,400件

【分野別達成状況の概要】

前述した「高根沢町元気メニュー開発プロジェクト」等、「行政と町民の皆さんが、一緒になって事業を行った」、そして「目に見える成果があげられた」という成功事例を一つひとつ積み重ね、行政そして町民の皆さんの意識醸成のため、民間有志で平成26年4月に志民活動サポートセンター「たんたん Cafe」が設立され、毎月1回の定例会が開催され、志民活動における議論が高まっています。

情報共有については、年度の目標値を上回っていることから、成果を上げているものと判断していますが、今後も、町民の皆さんのニーズの動向には常にアンテナを高くしながら、より良い情報発信及び受信のあり方を検討していきます。

< 進捗状況の全体概要 >

東日本大震災における被災状況下で、復旧事業に資源(財源及び人員)を振り向けたこと等により、全ての目標を計画期間内に達成することはできませんでした。

しかしながら、災害復旧と計画執行のバランスをとり、最優先事項である「町民の皆さんの安心・安全を確保すること」については積極的に取り組み、着実な成果を上げたと判断しています。

平成28年度からは「くらし 高まる たかねざわ」をキャッチフレーズとした「地域経営計画2016」に基づき、町民の生活実感の向上、定住人口増加の実現を目指し、各種施策展開を図っていきます。

問合せ先：町企画課 企画調整係 TEL:028-675-8102 FAX:028-675-2409
Eメール：keiei@town.takanezawa.tochigi.jp